

# Shono Street

庄内農業高等学校 図書館だより

R4 No.6

9

2022.9.26

読んだ感想を 絵に描こう

読書感想画

中央コンクール

指定図書



(内容紹介は「学校図書館速報版」による)

『はなの街オペラ』

森川 成美 くもん出版

時は大正時代。宇都宮で生まれた14歳のはなは奉公のため上京する。昔から歌が好きだったのはなは、ひょんなことから浅草オペラのスターになる。しかし、大正12年9月1日、大地震がおきて…。



『ぼくたちのスープ運動』

ベン・デイヴィス 評論社

新しい町に引っ越したジョーダン。ここでは小児ガンで入院していたことを誰も知らない。ある日、母が持たせてくれたスープをホームレスの男性にあげたことから、思わぬ「運動」が広がっていく。



『蛍と月の真ん中で』

川邊 徹 ポプラ社

ある出来事により大学を休学した匠海。向かったのは、亡き父が蛍を撮影した長野県。そこでの出会いが家族や将来に悩む彼を変えてゆく。居場所を求める若者の葛藤と確かな一歩を描いた青春小説。



『さばの缶づめ、宇宙へいく』

小坂 康之、林 公代 イースト・プレス

地域の名産「よっぱらいサバ」の缶づめが、宇宙へ旅立った！そこには12年にわたる物語があった。数々の困難をのりこえ一人一人が力を合わせたとき、宇宙への扉が開いた。



『火星は…』 スザンヌ・スレード

あすなろ書房

地球のとなりにある神秘的な星「火星」。何世紀にもわたり人類はこの星に思いをはせてきた。探査ロケットから送られてきた写真で、現在の「火星」の姿を紹介する。我々の想像を超えた美しい異世界だ。



指定図書はすべて図書館にあります。また、図書館掲示板や図書館内には、卒業生や過去の優秀作品を掲示しています。チャレンジしたい生徒は学校司書の松森か美術の十川先生まで。

## 校内読書感想文コンクール 報告

校内読書感想文コンクールの上位2作品を田川地区審査に出品しました。

1年B組 高橋 空さん 「あたりまえ」 / 『ラストメッセージ ガラスのうさぎと  
ともに生きて』

2年A組 守屋 璃音さん 「勇気という剣」 / 『夏の騎士』

YBC 読書感想文コンクールに次の作品を出品しました。

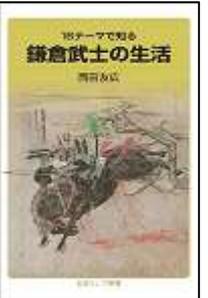
1年B組 工藤 和歩さん 「違いを受け入れて」 / 『ソフィーの秘密』



# New Books



☆は、リクエスト本。ほしい本があれば図書館まで

<p>『世界の神話 躍動する女神たち』</p>  <p>「美しく優しい」だけじゃない多様な女神を紹介。怖かったり、強かったり、案外頼りなかったりいろいろな女神がいるのです。</p> <p>沖田瑞穂 岩波書店</p>	<p>『16のテーマで知る鎌倉武士の生活』</p>  <p>鎌倉幕府のトップ「鎌倉殿」に仕えた武士、すなわち御家人たちはどのような人々だったのでしょか。古文書や絵巻物から鎌倉武士の実像を明らかにしている。</p> <p>西田友広 岩波書店</p>	<p>☆『腹を割ったら血が出るだけさ』</p>  <p>本心を閉じ込められながら毎日過ごす茜寧の前に現れたのは、小説に登場する〈あい〉にそっくりな人物だった。きっと、みんなも物語を生きている…。</p> <p>住野よる 双葉社</p>
<p>☆『むき出し』</p>  <p>殴られるのも、嘔吐くのも、寂しいのも、ぜんぶ「普通」だと思っていた。でも、人生は変えられる。出会いと決断、一瞬一瞬を大事にしよう。</p> <p>兼近大樹 文藝春秋</p>	<p>『ぼくらの戦争なんだぜ』</p>  <p>戦場なんか知らなくても、ぼくたちは本当の「戦争」にふられる。教科書、戦争小説、戦争詩を読む。すると、考えたこともなかった景色が見えてくる。</p> <p>高橋源一郎 朝日新聞出版</p>	<p>『なりたい自分との出会い方』</p>  <p>将来の夢、まだ決まっても、まだいじょうぶ！就活しないで世界に飛び出した著者が学び方・働き方が多様になる時代を自分らしく生きるアドバイス。</p> <p>岡本啓史 岩波書店</p>
<p>『パンに書かれた言葉』</p>  <p>東日本大震災直後、エリーはイタリアの祖母の家と父の実家の広島を訪れる。旅の中で、自らのルーツや文化の違い、戦争の惨禍について考える。</p> <p>朽木祥 小学館</p>	<p>☆『ボタニカ』</p>  <p>ただひたすらに植物を愛し、採集と研究、分類に無我夢中。日本植物学の父、牧野富太郎の愛すべき天才の情熱と波乱の生涯を描いている。</p> <p>朝井まかて 祥伝社</p>	<p>『N/A』</p>  <p>まどかとうみちゃんは、SNSで自分たちが偏見と闘う同性カップルとして登場していることを知る。「本当はどんな属性もふさわしくない」。まどかの切実な言葉。</p> <p>年森英 文藝春秋</p>

## 8月の図書貸出状況

8月の図書貸出総数は全校で81冊でした。内訳は、生徒への貸出数が55冊、教職員への貸出数が26冊です。

